

## 市の重要文化財「堀家住宅」に思いをこめて

たつの市立小宅小学校 6年生

今年は平城京遷都 1300 年の年です。「小宅」という名がついたのは、1300 年より少し前。この 1300 年の長い年月を経た私たちのふるさとには、堀家住宅、小宅神社、中井廃寺など、数多くの歴史文化遺産があります。そのすばらしさを伝える方が少なくなってきた今、私たちには、それを後世に伝える義務があると話し合いました。そこで、校区に残る 16 の歴史文化遺産について、『地域の歴史「語り人」プロジェクト』として、たつの市教育委員会文化財課の皆様と「おやけのまちを知る会」の皆様との協力のもと、約半年間調査してきました。その成果を、「堀家住宅」特別公開展でご来場の皆様に伝えます。

### 【活動の経過】

1 学期から夏休みにかけて、グループごとに、校区に残る史跡を調査しました。知らなかった事実をたくさん知ることができました。私たちの身近な場所に、社会科の学習に出てくる事柄と関連する史跡もあり、驚きました。



2 学期からは、全員で堀家住宅を調査しました。一橋徳川家の庄屋「堀家住宅」の広さに驚くとともに、江戸時代から残る貴重な蔵や建物を守らないといけないという思いになりました。

(10 月末の音楽学習発表会では、その思いを込めて「蔵づくりのある町」を歌いました。)



### 【11月20日、21日に公開展】

写生会で描いたこの堀家を舞台に、6年生 158 人が役割分担し、ガイドを務めます。晩秋の一日、私たちといっしょに歴史の重みを感じてみませんか。皆様のお越しをお待ちしています。